



JR連合NEWS ～2021春闘～

No. 27

今こそ「ONE TEAM」となり、JR産業に集うすべての仲間の雇用と生活を守ろう

2021年3月9日

日本鉄道労働組合連合会

JR連合近畿地協・JR西日本連合・JR西労組
2021春季生活闘争総決起集会

「ONE TEAM」で明るい未来を切り拓こう！



3月5日、JR連合近畿地方協議会、JR西日本連合、JR西労組は、大阪市内をメイン会場にライブ中継で10会場を繋ぎ、2021春季生活闘争総決起集会を開催した。職場で汗して働く組合員と家族の期待を背負い、今闘争の勝利、安全の確立、働く者の視点に立った政治の実現に向け、力強く運動を進める決意を固めあった。

竹崎秋彦副議長（JR東海ユニオン関西地本執行委員長）の気迫のこもった開会あいさつに始まり、主催者代表挨拶では上村良成議長（JR連合副会長・JR西労組中央執行委員長）から「本会場と各会場の赤い檄布に込められた組合員と家族の熱い思いに応えられるよう、正念場を迎えた本春闘で要求実現をめざす」と決意が述べられた。

来賓挨拶では、近畿交運労協の宮竹秀美事務局長から「Key Workers」キャンペーンに触れた上で、「コロナ禍でも支えてくれる家族に想いを馳せ、粘り強く取り組もう」と檄が発せられた。また、JR連合の今井孝治企画部長からは、昨秋に実施した緊急署名等に対する感謝の意を表しつつ、「健全な労働組合として展開してきた累次の中期労働政策ビジョンや賃金実態調査により『働きの価値に見合った水準』を要求する根拠は明確である。最後までしっかりと会社と向き合ってもらいたい」と要請した。

その後、メイン会場に出席した加盟単組の代表者から決意表明があり、集会アピールを採択した。そして、上村議長の団結がんばろうで、仲間との団結で明るい未来を切り拓いていく意志を確認しあった。